

## 修学旅行 3 年ぶりに実施される

様々な不安要素があるなか、なんとか修学旅行が実施できてほっとしているところです。全員の参加はなりませんでしたが、185名の生徒が10月19日(水)から22日(土)まで3泊4日の旅を満喫しました。全日程が好天に恵まれ、さわやかな秋晴れのもと奈良・京都を中心に、関西の地を元気よく闊歩し、楽しむことができました。宿舎は、3泊ともに京都市中心部に位置する「松井別館 花かんざし」でした。

集団生活を通して、お互いの融和の精神と秩序を守り、日常性の開放のなかで様々な感動や体験をし、友情を深め合うことができました。コロナ禍での修学旅行であったため、諸々な制限がありました。宿舎では学年が一堂に会しての食事はできず、部屋ごとでの食事の提供でありすべて部屋食でした。しかし、仲間たちと寝食を共にすることでこれまでの人間関係の濃度を更に密にすることができ、絆がより一層深まったと感じています。



「学びの旅」は学問に出会う旅・好奇心を沸かしたたせる旅・未知への挑戦でもあります。慣れない土地でのコース別研修や班別自主研修では自分の足と班の仲間を頼りにして、道に迷ったり電車やバスの乗り継ぎに困ったりしましたが、地図アプリを頼りにしながら皆と右往左往し、わいわい言いながら解決をはかりました。

残念ながら参加することができなかつた仲間たちに、お土産を買い求める姿が印象的でした。さすが西高生、友だちを思いやる優しい仲間たちの集団です。お土産をもらった生徒も歓喜を表現する感動のシーンが各所で見られました。

17カ所の世界遺産を有する京都は我が国を代表する歴史と文化に満ちた魅力的な地です。修学旅行に参加できた人もできなかった人も、これから先の自分の人生のなかで、折に触れ何度でも訪れてみたくなる素晴らしい訪問地です。

## ■ 11月の行事予定 ■

日	曜	予 定
1	火	面接週間～8(45分)
2	水	
3	木	文化の日
4	金	ベネッセ総合学力テスト～5
5	土	
6	日	
7	月	SC
8	火	緑の羽募金～11
9	水	⑥⑦柴原智幸氏講演会
10	木	
11	金	
12	土	デザ科実技講習会～13
13	日	
14	月	SC
15	火	
16	水	
17	木	
18	金	
19	土	
20	日	
21	月	SC
22	火	
23	水	勤労感謝の日
24	木	期末考査
25	金	期末考査
26	土	
27	日	
28	月	期末考査
29	火	期末考査,読書会(図書委員)
30	水	

\*SC…スクールカウンセラー来校日

### ● 12月の主な行事予定

- 15日(木) 終業式
- 16日(金)～23日(金) 課外
- 17日(土)～20日(火) デザイン科学科 26回卒業

### ★ ベネッセ総合学力テスト

初めての5教科受験です。教科によっては、今年度は授業が行われていない内容もあります。大学入試を見据え、しっかり復習をして当日に備えて下さい。

\*詳しい日程は、実施要項を確認すること

### 修学旅行を終えて…

▼デザイン科学科の旅程は寺院にあてられた時間が多く、歴史や文化を学ぶのがメインであると思っていました。実際に旅するのは現代なので、過去と現代を均等に学べてフランスが良かったと感じました。まず歴史・文化を学んで印象に残った場面が数々あり、一日目は東大寺大仏殿が特に印象に残りました。実際に見る大仏様は教科書で見ると何倍も迫力があり、その場の荘厳な空気に圧倒されてしまいました。二日目の興福寺では、美術館かのように仏像が多数並べられており、メインの木造千手観音菩薩立像にも惹かれましたが、やはり印象深かったのは阿修羅像でした。六本のうち、後方四本の腕がまるで翼のように広がっていて、美しかったです。その後向かった法隆寺も、使われている木材に長い歴史が刻まれているような気がして、何とというか諸行無常を感じました。

(略) 2の5 O・Y

▼東塔は授業で習った通り、裳階や水煙などの装飾を見ることができた。創建当時から残る唯一の建物ということで、歴史の重みを感じた。その律動的な美しさから『凍れる音楽』と評されることはまさに言い得て妙だと思う。また、水煙は資料集の写真だと小さくてよく見えなかったが自分の目でしっかりと確かめることができたので良かった。水煙には、この先も塔が焼けて落ちないようにという願いが込められているらしい。左右両塔は形、高さがそれぞれ違ったが、それにも理由があると知って驚いた。形状は木材の乾燥収縮、基盤は地盤沈下を考慮して建てられたという。500年後には両塔の高さが揃い1000年後には屋根の形が想定通りになるよう計算したその発想力と高度な技術にただ圧倒されるばかりだった。職人達は1000年後に完成した塔をみることはできない。それでも未来へと託した彼らの心情はどのような

ものだったのだろうか。塔は引き継がれ、今でも価値のある建物として現存している。この事実が、私たちに『日本の職人の凄さ』を体感させてくれてくれた。(略)自分で簡単に行くことのできる場所ではないので、今回の旅行は本当に良いものだった。未来に受け継がれるべき日本人の職人の技術・魂も感じられた貴重な機会だったと思う。

2の1 N・H

▼まず初めに「薬師寺」で驚いたことは、東塔の仏像の迫力でした。足元の方で戦う人びとがいて、その真ん中にいらつしやる仏像が印象に残りました。次に金堂を抜けると更に大きい大講堂があり、建築デザインが豪華で昔の日本人の美意識、センスはとてすばらしいと感じました。次に「東大寺」ですが、見上げるほどの大門と左右に立つ力士像は、今に

も動き出しそうなほどリアルで怖いくらいでした。さらに「大仏殿」でもこのような大きな建物をクレイション技術のない時代にどのようにして建てたのだろうと想像するだけでも当時の人びとの技術の高さ、表現力にただただ驚かされました。それと同時に我々の祖先達の根性や本気度が伝わってくる共に、当時の人びとにとってそれだけ大仏の存在は大切だったのだと思います。(略)

2の1 A・A

